

第30期 第4局

竜王戦

大盤解説会、11月24日に開催！



渡辺明竜王

VS 羽生善治棋聖

- 生年月日 1984年4月23日
- 出身地 東京都葛飾区
- 師匠 所司和晴七段
- タイトル履歴
竜王 11期（第17期-2004年度～25期・28～29期）
-永世竜王
王座 1期（第59期-2011年度）
棋王 5期（第38期-2012年度～42期）-永世棋王
王将 2期（第62期-2012年度・第63期）

- 生年月日 1970年9月27日
- 出身地 埼玉県所沢市
- 師匠 (故)二上達也九段
- タイトル履歴
竜王 6期（第2期-1989年度・5期・7～8期・14～15期）
名人 9期（第52期-1994年～54期・61期・66～68期・72～73期）-十九世名人
王位 18期（第34期-1993年度～42期・45期～47期・52～57期）-永世王位
王座 24期（第40期-1992年度～58期・60～64期）-名誉王座
棋王 13期（第16期-1990年度～27期・30期）-永世棋王
王将 12期（第45期-1995年度～50期・52期・54～58期）-永世王将
棋聖 16期（第62期-1993年度前期～66期・71期・79～88期）-永世棋聖

※永世就位は原則引退後

日時 11月24日（金） 午後4時から終局まで

（早期終局の場合も午後8時までは開催） ※「次の一手」を行う予定です。

会場 読売新聞中部支社 5階会議室（地下鉄東山線伏見駅徒歩7分）

解説棋士 杉本昌隆七段 / 聞き手 中澤沙耶女流初段

参加費 1,500円（1ドリンク付き） 定員100人

※指導対局も行います。午後2時から先着順10人で、受講料は2,000円です。

参加方法 事前にはがきで住所、氏名、電話番号、参加人数、指導対局参加の有無を〒460-8470（住所不要）読売新聞中部支社「竜王戦大盤解説会」係へ。ファクス（052-211-0084）、電子メール（c-event@yomiuri.com）でも可。11月17日（金）必着。残席があれば当日参加も可。参加費は当日徴収します。

問合せ先 読売新聞中部支社 事業課 TEL052-211-0083

竜王戦は、昭和62（1987）年、それまで26期続いた十段戦を発展的に解消して設立された、読売新聞社が主催する将棋界最高位のタイトル戦です。

渡辺明竜王に羽生善治棋聖が挑む第30期竜王戦。渡辺竜王が3期連続で防衛し、通算タイトル保持記録を12期に伸ばすのか、羽生棋聖が第15期以来の振り返りを果たし、永世竜王の資格を得るのか、最高位棋戦にふさわしい黄金カードに、全国の将棋ファンが注目しています。

読売新聞中部支社では、竜王戦の30期の節目を記念すると共に、7月に移転した新社屋を広く知っていただくため、大盤解説会を開催します。

解説



杉本昌隆七段

名古屋市出身。現役棋士であると同時に、東海地方を中心に将棋の普及活動を行っている。（故）板谷進九段門下。29連勝を成し遂げた瀬戸市の中学生プロ棋士、藤井聡太四段の師匠。
竜王戦は現在2組（1組通算8期）。

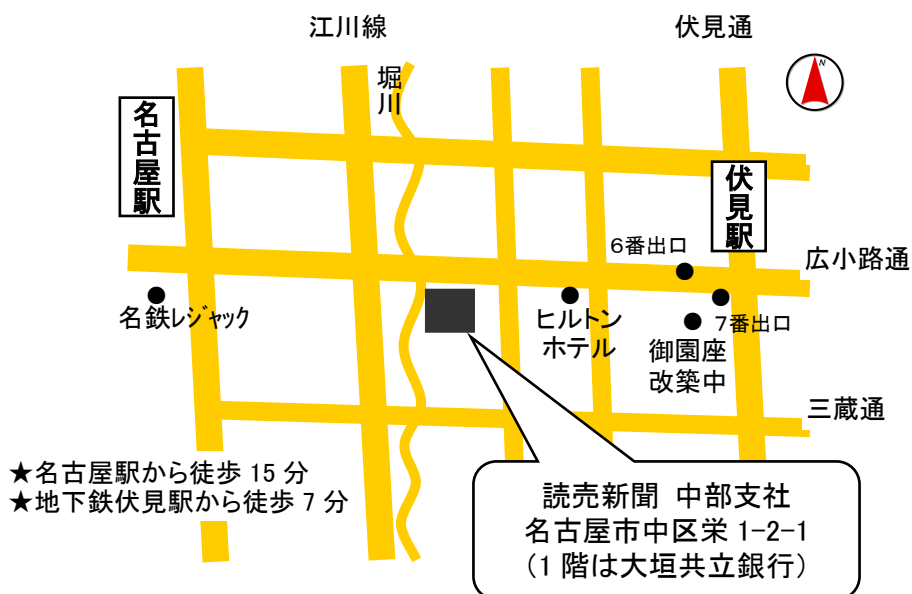
聞き手



中澤沙耶女流初段

杉本昌隆七段の門下生で、2015年にプロ入り。2016年に女流初段に昇級。

会場までの略図



主催 読売新聞社